

佐藤浩一
piano

西嶋徹
contrabass

2025 04月19日(土)

開場 19:30 night live

開演 20:00

(2ステージ入替なし) (1 drink=600~)

MC=3300+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



佐藤浩一

1983年生まれ。神奈川県横浜市出身。洗足学園音楽大学、パーカリー音楽大学卒業。ジャズ/即興/室内楽/ポストクラシカル/ポップス/映画音楽など幅広いフィールドで活動。繊細なタッチで研ぎ澄まされた音色を放つピアニストとして、伊藤ゴロー、福盛進也、狭間美帆 m_unit、象眠舎、原田知世、林部智史などのグループに参加。映画「劇場版 ヴァイオレット・エヴァーガーデン」(2020年)「ラーゲリより愛を込めて」(2022年)「傲慢と善良」(2024年)などの劇中音楽のピアノ演奏を担当。また作曲家として数多くの楽曲を発表、2021年には全て自らの作曲による2枚組のアルバム『Embryo』をnagaluからリリース。ソロピアノによるDisc1と弦楽カルテットを含むアンサンブルによるDisc2からなるこの作品で、唯一無二のピアニズムと作曲家/編曲家としての魅力を存分に発揮。編曲家としては林部智史やWith ensembleなどで多くのシンガーのアレンジを手掛ける。2023年にはダンサーの笠井毅と平山素子との公演「フーガの技法を踊る」でJ.S.バッハの「フーガの技法」全曲を演奏、2024年にはマリア・シュナイダーのチェンバー・オーケストラで日本初演の作品を演奏するなど、クラシックにも演奏の幅を広げている。



西嶋徹

1973年東京生まれ。5才よりヴァイオリン、高校よりエレキベースを始め、大学卒業後にコントラバスを始める。ジャズやアルゼンチンタンゴを軸に幅広い分野で活動。現在、Cuatrocientos、三枝伸太郎 Orquesta de la Esperanza、鬼怒無月 Quinteto、吉田篤貴 EMOstrings、などのグループに参加。これまでに、葉加瀬太郎、綾戸智恵、小野リサ、小松亮太、Jazztronik、Pablo Ziegler 等多くのアーティストのコンサートやレコーディングに参加。2014年にピアニスト林正樹との2枚目となるDUOアルバム「El retratador」をリリース。2018年、ソロアルバム「Phenomenology」をリリース。2021年、ギター藤本一馬、ピアノ栗林すみれ、ドラム福盛進也とのグループ Remboatoにてアルバム「星を漕ぐもの」リリース。2024年、自己のリーダープロジェクトとして蒼波花音(sax)、遠藤ふみ(pf)、と共にアルバム「幽けき刻」をリリース。